

下水道事業会計決算

平成19年度に整備した地区

大館地域の字相染沢中岱、字扇田道下、字桜町南、字鉄砲場、字東台、字古川町、赤館町、東台、二井田、比内地域の味噌内、新館、笹館、田代地域の岩瀬などの一部

新たに下水道が使えるようになった面積 47ha

処理状況

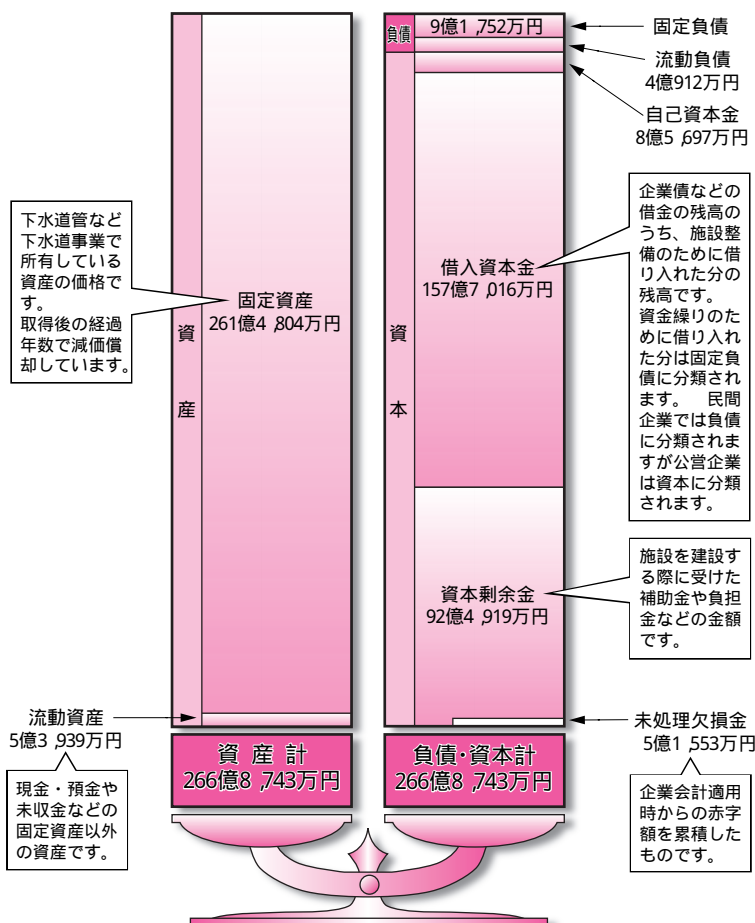
行政区域内人口	82,510人
処理区域内人口	31,490人
普及率	38.2%
水洗化人口	23,353人
水洗化率	74.2%
年間処理水量	2,367,251m ³
年間有収水量	2,301,689m ³
有収率	97.2%

平成19年度の収入は11億5,343万円、支出は13億2,201万円で、差し引き1億6,858万円の赤字となりました。これは、下水道事業が建設途中のため、使用料収入が十分に見込めないためです。市内には、まだまだ下水道が通っていない地区があり、これからも多額の事業費が必要で、そのため、今後も経営の安定と健全化を図るために努力していきます。

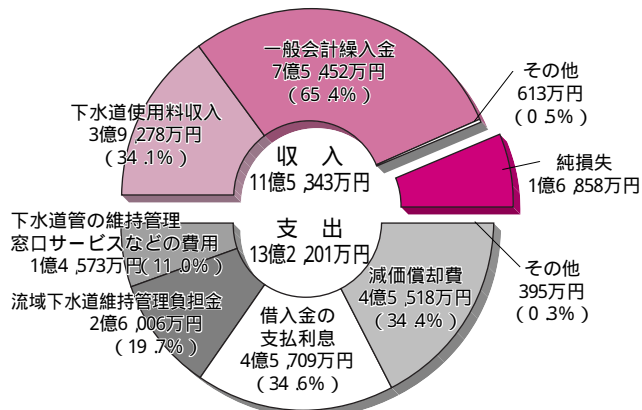
1億6,858万円の
単年度損失

下水道を整備すると、トイレの水洗化が進み、また家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などの水質がきれいになります。環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみで水洗化を進めましょう。この施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などで賄われています。

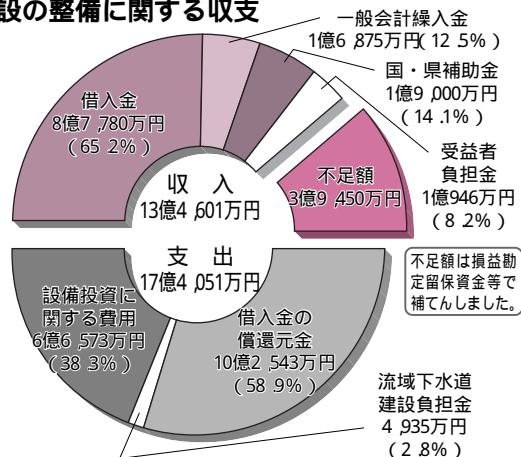
平成19年度大館市下水道事業貸借対照表 (平成20年3月31日現在)



収益的収支(消費税抜き) 事業の運営に関する収支



資本的収支(消費税込み) 施設の整備に関する収支



お問い合わせは、建設部管理課 ☎43-7086まで